

サンダ 俱樂部

第10号 Vol.10 1996.1.



SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION

三田市国際交流協会

三田市二輪2丁目1-1
三田市文化室内
795-59-5022
795-63-1366
IWA SANDA
□ 669-13 JAPAN

シートで交流

▶オーストラリア少年サッカーチーム来訪◀

‘95年9月23日から
今まで豪州ブルーマウンテンズから少年サッカーチームが三田を訪
れ、ホームステイしながら市内高校生達とサッカーの親善試合をして交
流を深めました。

も見学しました。エリザベス・ディネーターのリンさんはオーストラリアで女性として初めて柔道初段を取られたという事で特に柔道の授業に興味を持たれました。皆初めての日本訪問であり、慣れない日本での生活ではあります。

★何年位やっていますか。
カーラブです。から集まっているサン

本に来てから覚えたのは「あちっ」(熱い)、「トレーディングカードですか?」「地震」「乾杯」「もしもし」「ふとん」「ありがとうございます?」「なに?」などです。日本へ来て困ったことは。

日本の制服は皆
同じような色や形です
ね。

16才の男子11人と引率のコーチら4人。親善試合は25日に北摂三田、26日に三田西陵、有馬各高校と行われました(三田学園高校とは雨のため中止)。長旅の疲労のうえ、日本の高校生との年齢の差があることや、冬しか練

★制服につけられる思
いますか。

冬の間だけ、週2回で1回2時間くらいかな。他の季節にはテニス、アスレチック、ラグビーなどをします。**★日本の高校生の印象は。**
高校はとても厳しいと思います。緊張して疲れました。高校生は真面目で恥ずかしがりやですね。僕たちはlazyです(We're lazy)

冬の間だけ、週2回で1回2時間くらいかな。他の季節にはティス、アスレチック、ラグビーなどをします。

親善大使達の訪問記
②
95三田市学生英語スピーチ
コンテスト
国際タウン「三田ワシント
ン村」

CONTENTS

② 親善大使達の訪問記
'95三田市学生英語スピーチコンテスト

③ 国際タウン「三田ワシン
ン村」

④ 心に残るまち三田

⑤ パインホットインタビューコンテスト

⑥ 三田のスコットマン
「イギリス人」って誰?

⑦ 三田に暮らす国際人
海外旅行失敗談

▲有馬高校浪室前に不

夢とやすらぎを求めて…



移りゆく四季の風情を背景に
舞台に繰り広げられる
幽玄の世界・・・
幻想の世界・・・
日本にうけつがれてきた
伝統文化を存分にごらんください

- ヘレステーキ料理一式・・・￥5,300
- お昼のステーキ料理一式・・・￥1,900
(11:30~16:00 日・祭日はございません)
- お子様ステーキ料理一式・・・￥2,300
- お子様ランチ・・・・・・￥1,000

三田屋本店

兵庫県三田市武庫が丘7丁目5番 0795-64-4151(代)

対する叱り方が世界共
に上下の差がない様な
安かったのですが、人
間関係例えば兄弟間
の話題や親の子どもに
気がしました。夕食時
に対する叱り方が世界共

日本のお母さんと違
う点を挙げるとすれば、物
質的な面では、家など
ほとんどの物が大きく
変わったのですが、人
間関係例えば兄弟間
の話題や親の子どもに



▲栗倉君とホストファミリー

栗倉啓喜君（三田学園高校2年）
①ブルーマウンテンズ
8/5~8/27
②オーストラリアと言えば、変な動物、でかい岩（エアーズロック）、どでかい田舎の国というイメージでした。昔の日本の様に、知らない人も友達といつた精神をみせてもらつたのは最高でした。

③他の家族と食事したことがないのに他の国の家族の一員として過ごせたのは興味深かったです。

日本の家族と違う点を挙げるとすれば、物質的な面では、家などほとんどの物が大きく変わったのですが、人間関係例えば兄弟間の話題や親の子どもに

①訪問先、滞在期間
②第一印象
③一番思い出に残つたこと。
④生活して反省したこと。日本の良さに気付いたこと。
⑤また、行ってみたいですか。

一昨年の三田市学生英語スピーチコンテストの高校生の部優勝、水本さんと準優勝者、栗倉君は'95年夏、豪州ブルーマウンテンズ市へ。三田ライオンズクラブと当協会共催の交流プログラムに選ばれた高校生の藤原さんと中学生の笹田君も同夏、韓国済州島を訪問し、それぞれホームステイをしながら素晴らしい異国での体験を聞かせてくれました。

通で親近感を覚え、嬉しくなりました。

④ホストマザーと一緒に棚から商品を落とした時に横にいた人とちよつとしたジョークを言つて、今日本では知人「N.O」と言つたのでもう少し言つて、日本人は生きしていく上で基本を忘れてはいけないことを思い出し、日本人は生きていく上で日本語で、大人とは少し覚えたハングル語と漢字でした。漢字は少し違えけれど大体通じました。食事は辛いのが苦手な私は真っ赤なキムチ以外の料理をお腹一杯食べました。

⑤韓国は儒教の教えが強く上下関係がはつきりしていて、自分の親にも敬語を使っていたので驚きました。煙草は目上の人前では吸わない方が良く、女性はほとんど吸わないそうです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと「欧米は皆平等でいいね」と話しました。韓国では受験が日本以上に大変で高3になると

「私達の日本の子供ですか」と私を紹介してくれ、会話は学生とは英語で、大人とは少し覚えたハングル語と漢字でした。漢字は少し違えけれど大体通じました。食事は辛いのが苦手な私は真っ赤なキムチ以外の料理をお腹一杯食べました。

⑥三田高校2年）
①済州島
7/26~8/8
②閑空から一時間半で着いた韓国は、本当に外国に来たんだろうかと思うほど近くで日本に良く似ていました。中心地はマンションが多く、商店街が立ち並び三田に比べると都会でした。周りの海はコバルトブルーそのもので島のあちこちに観光名所がある美しい島でした。気温は35℃くらいで湿気がなく日本より涼しい気がしました。

⑦西中美佳（八景1年）
⑧田学園2年）
⑨準優勝
⑩優勝）飯田真之（三田2年）
⑪準優勝
⑫優勝）飯田真之（三田2年）
⑬準優勝
⑭3位）新谷岳史（富士2年）
⑮審査員賞
⑯西中美佳（八景1年）
⑰喜さん。
⑱田学園2年）
⑲準優勝
⑳優勝）飯田真之（三田2年）
㉑準優勝
㉒優勝）太田裕子（雲雀丘学園3年）
㉓勝）井原麗奈（北摂三田1年）
㉔3位）木戸友子（三田西陵1年）
㉕審査員賞
㉖三田西陵1年）の皆さん。

㉗西中美佳（八景1年）
㉘喜さん。
㉙田学園2年）
㉚準優勝
㉛優勝）太田裕子（雲雀丘学園3年）
㉜勝）井原麗奈（北摂三田1年）
㉝3位）木戸友子（三田西陵1年）
㉞審査員賞
㉟三田西陵1年）の皆さん。

㉟西中美佳（八景1年）
㉟喜さん。
㉟田学園2年）
㉟準優勝
㉟優勝）太田裕子（雲雀丘学園3年）
㉟勝）井原麗奈（北摂三田1年）
㉟3位）木戸友子（三田西陵1年）
㉟審査員賞
㉟三田西陵1年）の皆さん。

親善大使達の訪問記

日本人観光客が多いため勉強していました。

③済州島で過ごした2週間は全て忘れられない素敵な思い出です。

飛行機の練習場など毎日のように色々な所へ

スティ先の家族に連れていってもらいました。どこへ行つても

「私達の日本の子供ですか」と私を紹介してくれ、会話は学生とは英語で、大人とは少し覚えたハングル語と漢字でした。

④済州島で過ごした2週間は全て忘れられない素敵な思い出です。

（2）

'95三田市学生英語スピーチコンテスト 中学生の部

・課題「アジアに関すること」または「自由課題」の発表。どの学生も真剣そのもので審査員泣かせの素晴らしいスピーチでした。

ぜひ今年はチャレンジしてみてください。

の井原さんは副賞として今年の夏、姉妹都市へ派遣されます。参加

（2）

③済州島で過ごした2週間は全て忘れられない素敵な思い出です。

・課題文：“What do you want to be in the future”または“Stay in touch”の暗唱・発表

④「高校生の部」出場者13名

⑤「中学生の部」出場者13名

⑥「小学生の部」出場者13名



▲如美地植物園にて藤原さん(右)と笹田君(中央)

最後になりましたが、私は済州島に行かせてくださいました方々にとて

も感謝しています。ありがとうございます。

⑦なお、高校生の部優勝の太田さんと準優勝

はやはり上下関係の事です。女人は低く見られ、今まで煙草やお酒は駄目だし、もし飲んだりする時も後ろを向いて飲まなくてはいけないので驚きました。煙草は目上の人前では吸わぬ方が良く、女性はほとんど吸わないそうです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと

はほとんど吸わないそ

うです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと



▲左から太田さん、井原さん、飯田君

はやはり上下関係の事です。女人は低く見られ、今まで煙草やお酒は駄目だし、もし飲んだりする時も後ろを向いて飲まなくてはいけないので驚きました。煙草は目上の人前では吸わぬ方が良く、女性はほとんど吸わないそうです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと

はほとんど吸わないそ

うです。女の人だけしか出ないと聞いて大変驚きました。僕は同じ人間なのだから対等に接しなくてはいけないと思いました。

⑧もちろんです。きっと高校入学が決まりました。僕は同じ人間なのだから対等に接しなくてはいけないと思いました。

はやはり上下関係の事です。女人は低く見られ、今まで煙草やお酒は駄目だし、もし飲んだりする時も後ろを向いて飲まなくてはいけないので驚きました。煙草は目上の人前では吸わぬ方が良く、女性はほとんど吸わないそうです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと

はほとんど吸わないそ

うです。男尊女卑の傾向が見られ、特に長男は大事にされていてスタイル先のお姉さんと

はほとんど吸わないそ

うです。男尊女卑

CONSUL GENERAL OF
BELGIUM
Patrick Nijs

心に残るまち三田

ベルギー王国総領事
パトリック・ネイス

I can not refrain from explaining to you how I came in touch with the beautiful and creative town of Sanda. I had not been in Japan for a long time when I decided to visit an important company, NIHON MEDIPHYSICS, which bought two sophisticated machines, i.e. CYCLOTRONS, in BELGIUM in order to produce isotopes to help medical diagnosis. I didn't know at that time where this company was located. I thought it would be very important for me to visit it as here in KANSAI Belgium has an image of diamond polishers, chocolate and beer makers, which doesn't completely fit with what we actually are.

Belgium is and has been for centuries a nation of engineers. To change your impression, I would like you to remind that BELGIUM is the nation that exports the most per capita in the world. For every Belgian, exports amount to 1,247,505 yen worth a year. I give you a comparison, the same amount for every Japanese comes to about 349,700 yen a year, which means 3.57 times less. Belgian exports represent 62% of our gross national product. For your reference, the same ratio, e.g. exports to GNP, comes to 14% for JAPAN, 20% for FRANCE, GREAT BRITAIN and ITALY, and 30% for the former Federal Republic of Germany. It shows that we are perhaps the most export-oriented economy in the world.

Furthermore, the enterprises in the metal manufacturing, mechanical, electrical, electronic and plastic processing sectors account for 29% of the total Belgian added value, 34% of the employment, 20% of the investments and 37% of Belgian exports. Industry could be considered the backbone of the Belgian economy.

You can therefore easily understand why I was so interested in visiting SANDA, where the real profile of my country as an advanced industrial nation is exemplified. I left it to my staff to organize the visit. The day when I went there brought me a totally unexpected experience. My car first drove a very long tunnel and then came out in an entirely different environment blessed with nature and open scenery. I was breathing again. After a rather short drive we came to an industrial zone, where, for the first time in JAPAN, I could appreciate a balance between nature and industry, nature and human activity. That is the reason why I wanted to learn more about the city of SANDA and that is also how I came to realize how active and innovative the city is in promoting and developing itself as an alternative to the overcrowded area around the cities of OSAKA, KOBE and KYOTO.

I think that there are many common points between SANDA and BELGIUM :

- these two places try to strike a balance between development and quality of life.
- these two places are not extremely famous yet they both are very active and open. People are surprised and impressed when they discover them.

My trip to SANDA, which was one of the first I did out of the bustling places along the sea, has been a very important one, as I came in contact with a facet of JAPAN that I appreciate very much : the Japan of the post-industrial era, aware of the importance of the environment and aiming at improving the quality of life.

Japan sometimes proves difficult for Europeans when it comes to space. I recently read that we are accustomed to enjoying about 12 times more space in our daily life.

As a result, when we come to JAPAN, we easily get a kind of feeling as if we could be squeezed all the time. The relationship people have with space is a basic element of cultures. When I walk in European cities, although they are very busy,

I most of the time extend my arms in all directions without touching anyone, my personal space being clear at armlength, and I can move about without being afraid of bumping into someone. In JAPAN, There is always somebody next to you and you have to cope with a possible disruption of your immediate surrounding personal space by them.

Maybe in SANDA the relationship with space is changing to such an extent that Europeans have the unfamiliar feeling of being more at home. My question would be whether the citizens of SANDA have the same feeling, and whether if, as JAPANESE, they are happy with the kind of closeness that characterizes the Japanese way of life. Along the lines of these questions, and the sharing of the answers, I think a kind of more personal exchange may happen that may help us to understand more about each others experience.

Let us keep in touch.

GAMBATTE KUDASAI.

* 日本に赴任して間もない頃の1993年春、
* 日本メジフィジックス株式会社を訪れるた
* め、初めて三田を訪ねました。美しくて創
* 造的なエネルギーにあふれた町に出会った
* 時の感動はいまだに忘れられません。

* 同社は、ベルギーとの交流が深く、これ
* まで2台の医療精密機器をベルギーより輸
* 入してくださった会社ですので、是非一度
* 訪れたいと思っていました。この会社がど
* んな環境の中にあるか興味があり、それに
* 加えて、関西におけるベルギーの印象は、
* ダイヤモンド研磨やチョコレート、ビール
* の国ですが、実際ベルギーが、数百年の機
* 械技術の歴史をもっている国であることを
* アピールしたかったのです。

* ベルギーは過去数世紀から現在に至るまで技術国であり、なおかつ世界有数の輸出国でもあり、国民1人当たりの年間輸出額は、1,247,505円です。これに対して、日本1人当たりの年間輸出額は約7割程度少ない349,700円です。輸出額がGNPにしめる比重に例えますと、ベルギーの62%に対し、日本は14%、フランス、イギリスとイタリアは20%、旧西ドイツは30%となっています。

* 以上のデータから見ても、ベルギーの経済は輸出で支えられていることがおわかりいただけます。中でも、製鉄、機械、電気、電子工学とプラスチック製造業は、ベルギー全付加価値の29%、雇用の34%、投資額の29%、輸出額37%を占めています。これらの産業はベルギー経済を支える背骨とも言えるでしょう。

* 例示いたしましたとおり、ベルギーは産業の先進国であり、皆様もなぜ私が三田訪問に非常に興味を持ったのかが、おわかりになることでしょう。また、三田訪問では、予期せぬ経験をいたしました。と申しますのは、私を乗せた乗用車が長いトンネルを走り抜けると、美しい自然と広々とした風景が視界に広がり、私は再びたっぷりと、息をすることができたように感じました。車でしばらく走ると、日本では初めて見る自然と産業、自然と人々がうまく調和した産業地域に着きました。この訪問を通じて、三田は実に活発で革新的な町であり、大阪や神戸、京都のような過密な地域とひと味違った産業の町になろうと努力しているのがよく分かりました。私はこのような三田をもっと深く知りたいと思いました。

* 三田とベルギーとの間には、多くの共通点があります。

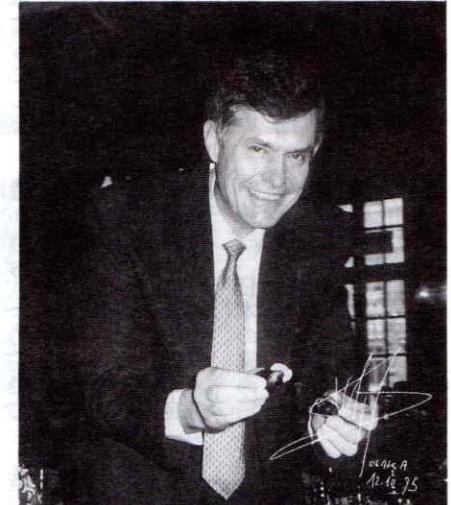
* 双方とも町の発展と生活の質との最良のバランスを保とうとしています。

* 双方ともまだ非常に有名な場所ではありませんが、共に活発で開放的な所であり、訪れる人々に深い印象と驚きを与えるような場所です。

* 三田は、私が日本に赴任して以来、初めて出会ったゆとりある町です。この訪問を通じて賑やかな大都市では見えない、日本のもう一つの側面に触れました。すなわち、三田のように産業地域への発展を遂げながらも、常に環境を大切にし、高い生活の質を追求し続けている日本に。

* 最近読んだ資料によると、ヨーロッパ人は日本人の約12倍の空間の中で生活し、これゆえに日本を訪れたヨーロッパ人は、空間の狭さを感じ、いつも人込みに押し込まれているような気がするそうです。人と空間との関係が、その国の文化の基礎を築いたのかも知れません。

* 正確な街歩きを歩くとき、非常に賑やかなにもかかわらず、誰でも腕を広げられる範囲の空間があります。私にとっての必要最小限の空間とは、腕の長さを軸にした、人の体にあたらずにさっさと歩ける空間のことです。一方、日本の場合は、腕を伸ばせる範囲にはいつも人がいて、常に、起こりうる衝突に気をつけなければなりません。しかし、三田では、人と空間との関係にゆとりがあり、ヨーロッパ人も故郷に帰ったような気分にさせられます。さて、三田の市民の方々は私と同じように感じておられるのでしょうか。これらの問い合わせを分かち合うことによって、もっと個人レベルでの意志疎通がスムーズに進み、双方の理解が深まっていくことだと思います。



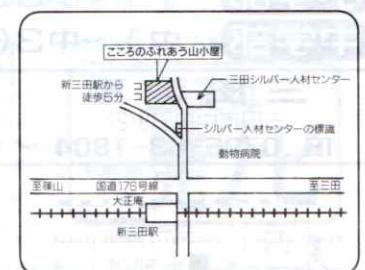
ベテラン日・米講師の楽しいレッスン 幼児から中高生・成人までトータルな英語力を養成

- ・一般会話クラス(入門～上級・昼夜間)
- ・幼児プレイグループ(2～6歳)
- ・小学生プレイグループ
- ・中学生クラス(各学年の教科書にあわせた会話レッスン)
- ・高校生クラス(長文・文法・会話)初級から入試まで
- ・数学クラス(わかるまで懇切ていねいに個別指導)

- ・入会随時……見学無料
- ・多忙な方には……回数券システム
- ・多クラス受講希望の方には
- ……長期分割払システム

Sanda English Center

TEL/FAX 52-6131 三田イングリッシュセンター



三田に暮らす国際人

ショーバナ・シユレスタさんの巻



ネパールでは、赤十字、結核予防会、母親の会などのボランティアとして、結核の注射をしたり、健康のこと達に字を教えたり、お金を得るために編み物や洋裁などを教えていました。
注) '85年に神戸にあるPHD協会の研修生として、1年間、洋裁の勉強をさせていただきました。

わたしの主人はPHD協会で仕事をしていました。とてもたいへんでしたけれども、なんとか'88年に、ネパールで結婚することができます、それから三田に住んでいます。

さて、ネパールのことをお話ししたいと思いますが、皆さんにお願いがあります。わたしは、わたしの知つてい

ヒマラヤ山脈、世界で一番高い山エベレストを思う方が多いと思います。エベレストは、ネパールの言葉でサガルマタ、チベットの言葉でチョモランマと言います。青い空にきれいな空気を思いうかべるかもしれません、村の方は、確かにきれいで、気持ちがいいです。しかし、ネパールの首都であるカトマンズの空気の汚れはひどくなつており、ついにメキシコシティをぬい

が雪にさわったのも、わたし
日本に来てからです。

山が多く、段々畑が
よく見られます。交通
もとても不便で、車で
行けない所が多いで
す。

ネパールには、たく
さんの民族が住んでい
ます。わたしは、ネ
ワールという民族で
す。民族によって言葉
が違う場合もあり、ネ
パール語が共通語であ
っても、通じないこと

では、暮らしの様子はぜんぜん違います。遠い谷川に水をくみに行ったり、たきぎを集めたり、牛のふんを乾かして燃料にしたり…。農業の仕事も、水牛を使つて耕したり、村の人共同で手伝つたりしています。町でも、日本のように便利ではありません。首都のカトマンズでも、水道の水は、1日、数時間しか出ません。

は、お手伝いをよくします。学校の先生や親をとても尊敬します。勉強するための本や参考書は簡単に買えないのです。学校で教わることをよく聞いて勉強しなければなりません。大きな町の子供たちの中には、塾に行っている子もいます。大學は、すべて英語で勉強しなければいけませんし、高校や中学の教科書も英語で書かれています。学

ますが、神様からいた
だいた命は同じです。
どこの国の人も、誰で
も、みんな、それぞれに
素晴らしいことをいつ
も忘れずにいたいです。
短く、上手にネバ
ルのことをお話するこ
とができませんんでし
た。ここまで読んでく
ださいってありがとうご
ざいます。

と目の前をスー^ツと通り過ぎ、茫然としたことがあります。後で分かったことだが、向こうでは手を上げない、と止まつてくれないのであります。またトイレに駆け込んだ時、後で水を流そうとするレバーがどこにも見当らず、周囲には人の気配がするし焦るばかり。と、その時やつと見つかりました。足元を見るとタイルに金具が埋め込んであつたのです。

切符

これもスウェーデン
での話。セントラルス
テーションの切符売場
で「ウブサラまで、1
枚」と言うと、「向こう
のキューナンバーへ行
つて下さい」との返

切符 これもスウェーデンの話。セントラルステーションの切符売場で「ウプサラまで、1枚」と言うと、「向こうのキューナンバーへ行って下さい」との返事。「9? Q?...」。「9」は日本語だから「Qナンバー」かと思ふ。駅中を捜したがその様な表示の窓口はありません。今度はおまわりさんに尋ねると

ヨーバナ・シユレスタ
といいます。ネパール
のカトマンズで生ま
れ、育ちました。
ネパールでは、赤十
字、結核予防会、母親
の会などのボランティ
アとして、結核の注射
をしたり、健康のこと
を教えたり、婦人の人
達に字を教えたり、お
金を得るために編み物
や洋裁などを教えてい
ました。

暮らしがあるのか。」と
わたしが初めて知つた
ネパールもあります。
家族の中でも、物の見
方や考え方方が違いま
す。「わたしが知つて
いるのでは、こんな人
が多い」とは言えて
も、「ネパール人は、
「です」とは、わたし

たことがないのも、食べ物のためかもしません。
ネパールでは、大家族で住んでいる場合が多いです。親は、自分の息子たちがみます。家族がない人達は、親戚や地域の人達がみています。気を使わず、はつきり言うことです。しかし、おじいさんはおばあさんをとて大事になります。

で、洋裁の仕事に行きました。そのときの経験で、困っている人達のために、何かお手伝いしたいという気持ちが強くなり、できるところをしてきました。今は主人や子供たちと共に日本での生活を頑張りたいと思いますが、もし、状況が許せば、ネパールで活動しながらと考えています。

私がオーストラリア旅行をした時のこと、やっと来たバスに乗ろ
う。日本人にとつて海外旅行のネックは「言葉と習慣の違い」ではないでしょうか。それにもつわる失敗談も多々、後で思い返すと滑稽です。

BUSとトイレ

BUSINESS

身を投げてしまうと
もうそれは病み付きになってしまいます。か
く言う私もその一人で
す。日本人にとつて海
外旅行のネックは「言葉と習慣の違い」では
ないでしょうか。それ
にまつわる失敗談も多く、後で思い返すと滑
稽です。

族には、ネワールの言葉があり、他の民族の人があつても、何を話しているか、ほとんど分かりません。日本だつたら、だいたいどこに行つても、電気、水道、ガスはあるのではないでしようか。田舎に行つても、電化製品はあるし、電話もあるし、車やバスも利用できるし……。ネ

が多いです。わたしは、日本に来てインスタント食品を食べるところの中が荒れてしまつたことがよくありました。今では、体が慣れてしまつて、あまりそういうことはなくなりましたが。ネパールの子供たちのおやつも、豆を炒めたものとか、果物などが多く、柔らかくて甘いお菓子は、あまり食べないです。

校に行きたくとも、家のためいろいろ仕事の手伝いでやめてしまう場合もあります。日本に暮らして、字が分からぬことが、どれだけつらいことか身にしました。でも多くの友達に助けてもらつたり、1年生になつた子供から漢字を教えてもらっています。

わたしは、小学校の時、2年間程、家の事

日本人の海外へのあ
こがれはどんどん高ま
り、今や色んな企画の
旅行が氾濫し、海外旅
行ブームは花盛り。
「旅の恥は、書き捨て」
等と言う言葉もあるよ
うに、日本社会の窮屈
な枠から脱出し外国の

すかし 海外旅行失敗談

買
い
物

一切符は電車の中で買

海外旅行失敗談

買 い 物

「切符は電車の中で買つたら」と教えてもらひ、とにかく電車に乗ることにしました。ところが今度は改札口がありません。困り果てて通りがかりのおばさんに「ウープサラへ行くには、どうしたらいですか。」と尋ね、連れてい行かれたのは何と一番最初の切符売場でした。「ここで番号の紙を取るのよ」。そうか、これが「キューナンバー」だったのか。

「Serie」とは、「順番を待つ人の列」の意味で、日本でも銀行の窓口で番号の紙を取りますが、そのことだったのです。結局2時間もかかるってやつと買ったとか。ちなみにストックホルムでは改札口はないそうです。

切 符

これもスウェーデンでの話。セントラルステーションの切符売場で「ウープサラまで、1枚」と言うと、「向こうのキューナンバーへ行って下さい」との返事。「9? Q? ...」。

「9」は日本語だから「Qナンバー」かと思ひ、駅中を捜したがそれなりさんに尋ねると

